

## 研究協力のお願ひ

昭和大学附属烏山病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

治療抵抗性統合失調症にクロザピン中止後、アセナピンが有効であった1症例
<p><b>1. 研究の対象および研究対象期間</b> 2015年2月1日～2017年12月31日に当院にてクロザピン中止後、アセナピンが有効であった患者さんのデータ</p>
<p><b>2. 研究目的・方法</b> クロザピンは、治療抵抗性統合失調症に対して有効性が確立されている唯一の抗精神病薬であり、30～60%に有効とされていますが、無顆粒球症等の重篤な副作用の出現に注意が必要です。今回我々は、無顆粒球症の出現によりクロザピンを中止後、アセナピン投与が有効であった1例を経験しました。本邦での報告は少ないですが、重症度が高い統合失調症の治療に際して、早期よりアセナピンを導入することで、早期の治療効果が期待される可能性が示唆されました。このため、後方視的研究により当該患者さんの情報を取得し、今後のアセナピンによる治療法を検討したいと考え、本研究を実施します。</p> <p><b>研究期間</b> 2018年1月31日～2018年3月31日</p>
<p><b>3. 研究に用いる試料・情報の種類</b> 情報：診断、年齢、性別、罹病期間、入院期間、成育歴、既往歴、家族歴、アレルギー、薬剤、臨床検査値</p>
<p><b>4. お問い合わせ先</b> 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。 また、資料・情報が当該研究に用いられることについて、本人もしくは本人の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属：医学部精神医学講座 氏名：石川 文徳 住所：157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11 電話番号：03-3300-5231</p> <p>研究責任者： 所属：医学部精神医学講座 研究責任者：真田 建史</p>